

Vol.045

福島市議会真政会報
— 平成28年4月 —

真政会報

真政会要綱

私たちは地方自治の信念に則り行政に対する監視と提言を怠ることなく、常に市民と行政のパイプ役として「市民」議会として「市当局」との三位一体を旨とし、市民福祉の向上と地域の振興・発展、真の市政伸展に邁進することを誓う！



二階堂 武文

川又 康彦

大平 洋人

白川 敏明

菅田 憲孝

小松 良行

萩原 太郎

黒沢 仁

渡辺 敏彦

半沢 正典

穴戸 一照

真田 広志

尾形 武

会長挨拶



半沢 正典

大震災・原発事故から5年が経過いたしました。本市においては9万戸にもおよび住宅除染も完了の見通し

平成28年3月定例会議を終えて

もつき、一般会計においても昨年度予算を215億円程度下回り縮小傾向になってきました。本会議にも執行部より55本の議案が提出されましたが、二元代表制の一翼として、会派内で情報の収集・共有をしながら冷静かつ丁寧な議論のもと時間をかけ慎重に結論を導き出し、会派丸となり採決に臨んでおります。我々議員は採決に対する説明責任を負っており、今後も会報、意見交換会や各地域での議員活動などを通して、説明を尽くして参ります。

3月定例会議主要議題の対応について

今定例会議の重要議題についての審査経過を説明いたします。敬老祝い金条例改正案については、平成28年度より祝い金が減額となるものの、持続可能な福祉政策の構築を目指す中で、高齢者福祉政策全体では予算の増額を確認しましたので条例改正案は賛成致しました。また、二人副市長制については、本市の財政状況、組織改編などの状況を鑑みた場合、今二人でなければならぬ明確な理由を見出せなかったため当会派も反対を投じ不採択となりました。また、安齋副市長退任に伴う新副市長山本克也氏については市長の人事権を尊重することも経歴に大きな期待を寄せ賛成し採択されました。

平成28年3月議会定例会議の報告

3月定例会議は3月1日に開会し平成28年度一般会計予算等の議案及び報告を予算特別委員会の委員長として選任された当会派の渡辺議員のもと審議しました。市長から提案理由に先立ち、所信の表明がありました。

の充実に努めました。今後とも「市民主役の市政」を基本に「みんなが誇れる県都ふくしまの創造」の具現化に取り組み県北地域の中心都市としての責務を果たすというものです。

962億円余となりましたが、除染実施事業費を除いた予算は、923億3千9百万円で、過去最高となりました。歳入における市税を主とした自主財源は、475億円余であり除染事業を除く構成比は51・5%です。依存財源は地方交付税・国庫支出金・県支出金・市債等であり最大会派として事業の執行に市民目線で臨んでまいります。

東日本大震災から5年が経過し、本市では放射能災害から市民の命と健康を守ることを最優先に、住宅除染の加速化や健康管理体制

平成28年度一般会計当初予算は、1,885億8千万円であり27年度比10・3%減の要因として「ふるさと除染実施事業費」が前年比280億円余減少し

中核市移行に関する調査特別委員会

平成28年1月19日に中核市移行に関するまちづくりの方針、市民福祉の向上及び財政影響等について調査をおこなうため当会派の菅田議員を副委員長とし

た特別委員会を設置しました。これまで市当局より中核市移行へのスケジュールや保健所の整備などの説明を受け、今後も調査を継続していく予定です。

当初、平成29年4月に移行の見込みでしたが、予算案提出の遅れ等により、現在のところ早期移行に向けスケジュールの見直しなどを行っております。

除染推進等対策調査特別委員会

本特別委員会は、主に「除染事業に関する調査」「除染作業により除去された土壌の運搬に関する調査」「原子力損害賠償に関する調査」等、

東日本大震災の復興に関する事項全般について調査を行うべく、当会派の真田議員を委員長として昨年9月設置がなされました。現在、主に「福

島市ふるさと除染計画」第3版策定を視野に、第2版に於ける課題の検証を含め、鋭意調査を進めておるところであります。

各常任委員会・分科会の報告

常任委員会は、少人数で専門的に審議をつくすために設置される委員会で、それぞれが所管する事務の調査、議案、請願、陳情の審査などを行います。平成26年4月からスタートした福島市議会基本条例に基づき一層頑張ってまいります。なお、【 】内は当会派の所属議員名です。

総務 (定数9人) 【真田・尾形・大平・誉田】



【政策推進部】東京五輪・パラリンピックに向けた競技や参加国の事前キャンプ誘致に向けた取組みを行います。また、参加国との相互交流を図る「ホストタウン構想」を推進します。
【選挙管理委員会】選挙権年齢が18歳以上に引き下げられるのに伴い、今夏行われる見通しの参院選で福島大構内に期日前投票所を設置します。

文教福祉 (定数8人) 【渡辺・黒澤・白川】



【教育委員会】読書活動推進のため、学校司書を6名から9名に増員。学習センターに地区学校支援本部を設置し、地区全体で学校を支援する体制を目指します。
【健康福祉部】敬老祝い金を77歳5千円、88歳1万円に変更。認定こども園・保育所の整備、また、待機児童解消促進事業補助をし、保育の定員増をめざします。

経済民生 (定数9人) 【半沢・萩原・川又】



【商工観光部】助成対象と要件を先進的に改訂した福島市企業立地促進条例が制定されました。
【農政部】樹園地表土除染、農業用水路除染実施事業、モモのせん孔病対策の防風ネット助成事業を予算化しました。
【市民部】福島テルサへの管理運営費として補正予算を計上。
【環境部】新最終処分場の調査費を28年度予算で計上。

建設水道 (定数8人) 【宍戸・小松・二階堂】



【建設部】福島市営住宅条例の一部改正により特別市営住宅入居者資格が拡充されます。これにより、市外への自主避難者、市内への避難者が市内に居住しやすくなります。
【水道局・下水道部】水道事業会計及び下水道事業会計が平成28年度から企業会計制度に変更されます。経済社会構造の変化に迅速に対応して事業を推進します。

平成28年度当初予算「真政会」要望の予算措置

平成28年度一般会計予算は、歳入・歳出それぞれ1885億8000万円で、住宅除染などふるさと除染事業の減少分があり、昨年度10.3%減少となりました。当初予算における真政会の要望に対する予算措置は以下の通りです。



(単位:千円)

1. 中核市移行に向けた慎重な検討と情報の公開	
中核市移行推進事業費	5,000
2. 地方版総合戦略の実現に向けた取り組み	
総合戦略推進費	845
3. 財政健全化にも配慮した積極的な財政運営と市有財産の利活用促進	
4. 中小企業振興基本条例に基づいた各種施策の策定と実施	
中小企業振興助成事業費等	2,020
5. 農業の復興と有害鳥獣対策の強化	
有害鳥獣被害防止対策事業費等	35,239
農業用ハウス周り除染実施事業費	527,000
樹園地表土及び農業施設等除染実施事業費	11,514,000
ため池等放射性物質対策事業費	475,000
風評対策費	15,685
6. マイナンバー制度の周知と適切な運用	
個人番号カード交付事業費	44,611
コンビニ交付サービス事業費	18,505
7. 再生可能エネルギーの積極的な活用と推進	
太陽光発電システム設置助成事業費	72,000
再生可能エネルギー導入促進事業費	1,420
次世代エネルギーパーク推進事業費	1,263
8. 子ども子育て支援事業計画の着実な推進	
子育て世帯応援手当費	379,307
待機児童解消促進事業費	504,172
保育所保育実施費	4,483,789
認定こども園費	614,264
地域型保育事業実施費	298,205
9. 仮称「道路ストック計画」の策定及び橋梁の長寿命化事業の着実な実施	
橋りょう維持費	463,153
10. 「東北中央自動車道福島大笹生IC」周辺土地利用計画の早期策定	
工業団地関連整備費	7,904
地域振興施設整備事業費	1,646
11. 下水道施設の老朽化対策と耐震化の推進	
下水道管路建設事業費	1,749,440
12. 学力・体力向上に向けた取り組みの強化	
学力グレード・アップ事業費	9,650
学力向上サポート事業費	18,396
十六沼公園屋根付運動場管理運営費	8,403
私立幼稚園元気アップ支援費補助金	10,000
13. 消防設備の更なる充実及び地域消防施設の整備	
常備消防施設費	531,903
非常備消防施設費	101,179
14. 水道施設における老朽管修繕計画の策定と耐震化推進	
老朽管更新事業費	852,181
15. 18歳以上を含めた若年層への有権者意識の向上	
選挙啓発費	990

平成28年3月定例会代表質問(抜粋)

将来の都市像について

福島市総合計画後期基本計画について、平成28年度から32年度までの5か年の実施計画の、東日本大震災の対応を取り入れた計画が示され、「市民主役の市政でみんなが誇れる県都ふくしまを創ろう」の具現化に対する、小林市長の選挙公



▲代表質問に立つ尾形武代表代行

約である人口40万人都市の構築に向けた将来の都市像について質しました。

財政運営について

震災から5年が経過し、復旧から復興へ進行中の本市において、少子高齢人口減少時代となる中、平成28年度予算額は1,885億8,000万円、除染費用962億円を除く一般会計予算が923億3,900万円で過去最高となりました。うち民生費が344億円で最高額を更新しました。その中、重要課

題の子育て支援・少子化対策や高齢者施策の充実と、新斎場や新最終処分場、各公共施設の建替えなど行政需要が大幅に増加する一方で財政面では、市民税は増加するが交付税は減額となるなど、厳しい状況の中で事務事業の見直しや人件費の削減、更に財政調整基金の取り崩しを行い財源を確保したが、今後の財政運営について質しました。

その他、中核市移行課題やふるさと除染計画、危機管理、企業誘致・観光振興、農業・農村振興計画等、19項目にわたり会派を代表して質問を致しました。

3月定例会一般質問(抜粋)

今定例会では、当会派より、二階堂、大平、白川、真田、小松、半沢の6名が市政について質しました。

集会所バリアフリー化 エアコン設置も補助に

バリアフリー化が遅れている集会所の改修が、一気に促進されそうです。この間、要望してきた「集会所補助金交付要綱」の見直しが進んで実現されることになり、今回、新年度予算に「集会所老朽化対策等改修補助」として500万円が計上されました。答弁では、補助対象は、30万以上100万円未満の小規模改修で補助率35%。バリアフリー化からエアコン設置事業まで対象に拡大されます。

高齢化社会へ、地域公共交通再編計画を策定

本市人口の高齢化26・93%となり、高齢者の運転免許の返納が増加し、その足の確保のため公共交通の拡充が必要不可欠であると考え、当局に対して地域公共交通のあり方を質しました。それに対し高齢化社会を見据え、本年より持続可能な公共交通の活性化及び再生を推進するための地域公共交通再編計画を策定し、市民が安心できる生活の足の確保に向けて力を注いでいくとの答弁がなされました。

東京五輪の事前合宿を 再整備中の福島体育館に

平成30年度の供用開始を目指している福島体育館の、設計コンセプト、武道場の規模、また来る東京五輪のホストタウン構想について問いました。新体育館は生涯スポーツの振興、日本の伝統文化である武道の継承、安全安心な街づくりに資する体育館を基本方針とし、武道場については旧施設と同規模であること、また東京五輪のバスケットボールや、柔道での事前合宿誘致を目指すとのことでした。

避難行動支援者名簿作成・ 活用の取組みを質す

災害対策基本法の一部改正により、高齢者、障がい者、乳幼

児等の防災施策において特に配慮を要する方のうち、災害発生時の避難等に特に支援を要する方の名簿の作成が義務づけられました。改正を受け、「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針」が示されたところであるが、指針に基づく避難行動要支援者名簿作成・活用状況を含め本市における取組について伺いました。

小中学校耐震化 補強事業について

福島市小中学校耐震化計画の進捗状況は、小中学校施設耐震化率が本年度末で72%となり、次年度の事業進捗率は75・5%となる見込みです。また、平成28年度は、耐震補強工事4校をはじめ、屋内運動場耐震化診断6校、耐震補強設計3校、改築関連工事、改築基本設計など各1校を計画に沿って進め、後期基本計画に掲げた目標値として平成32年度までに耐震化率95%を目指すとしています。

福島駅周辺計画策定へ新年度 「駐輪場・自転車道整備を検討」

JR福島駅周辺駐輪場は以前に比べますと整備が進んだものの福島市の顔である駅周辺としてはまだまだ雑然とした感があります。今後、コンパクトシティを標榜する上でも、また、環境に優しく健康維持の観点からも自転車利用を促進するため駐輪場及び自転車道の整備が必要ですが、市は平成28年度、将来需要のニーズ調査を行いJR福島駅周辺の駐輪場や自転車道の基本計画を策定し、29年度以降の整備方針の呈示まで行うこととなります。

各種団体との懇談会

1月下旬に福島市の宅建協会の方々との懇談会を開催しました。市街化調整区域内での住宅建設の基準要件や、中核市に移行した際の県からの移譲事務などについての様々な事案についてそれぞれの立場から意見を交換しました。真政会では、これからの様々な業界、市民団体から直接ご意見をいただくことで市民目線の政治を目指します。

三市・会派での懇談会



昨年12月、福島市・米沢市・伊達市の保守系会派が合同で議会改革の取り組み、東北中央道の開通に向けた3市の企業誘致、観光や政策研究を議論する研修会が実施されました。今後、各市持ち回りで共通する課題について議論を深めるとともに交流も進めてまいります。

3月定例会議で採択された 意見書・請願・陳情

- 請願**
 - 給付型奨学金制度の導入・拡充と教育負担の軽減を求める意見書提出方について
 - 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出方について
- 陳情**
 - 看護師・介護従事者不足解消のため、看護師等の労働環境改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書提出方について
 - ※中核市移行に関する3件の陳情は継続審議となりました。
- 意見書**
 - 子供の医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止と子供の医療費無料化を求める意見書
 - 児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書
 - 他に採択された請願陳情についての意見書3件が採択されました。

平成28年度春季 議会報告会へお気軽に ご参加ください

開かれた議会をめざし、議会改革委員会では、よりわかりやすい議会報告会のあり方を検討中です。今回の議会報告会では以下の4地域において、3月定例会議の内容を中心に市民の皆様にお伝えいたします。



開催日	開会時間	会場
5/13(金)	13:30~15:00	吾妻学習センター2階研修室
5/13(金)	19:00~20:30	渡利学習センター2階ホール
5/14(土)	13:30~15:00	茂庭多目的集会所
5/14(土)	19:00~20:30	飯野学習センター2階講義室

行政視察

1月20・21・22日

当市において参考となる先進地を視察

霧島市 新燃岳噴火の被害状況と防災対策を聴取

1月20日、火山防災対策について、鹿児島県の霧島市役所を訪れました。平成23年の新燃岳噴火の被害状況、爆発的なマグマ噴火での噴石の飛散、空振による被害状況などを危機管理監の徳田純氏から具体的に伺いました。

た。その後の対策の中で、避難計画の立案、防災訓練などを聴取。自主防災組織の活動の活性化、避難壕やモーターサイレン等の情報伝達手段の整備について、本市においても今後の検討が必要と思われます。



▲霧島市役所の危機管理監・徳田純氏に説明いただきました

久留米市 保健所及び衛生検査センター視察

中核市として大きなウェイトを占める保健所は、初期投資や人員の配置が困難と見込まれることから、関連施設等を参考にするため久留米市を視察しました。久留米市は中核市への移行を短期間で行うため、既存施設の利用を

優先し、分散配置としました。また、保健所の円滑な引継ぎを図るため、開設から7年間、県職員の派遣を依頼し、必要な専門職の確保を行うなど、参考とすべきものが多く、当党派として提言してまいります。



▲久留米市役所の保健所次長・笠氏に説明いただきました

大分市 複合文化施設「ホルトホール大分」を視察

大分市の駅近くに建設された「ホルトホール大分」を視察しました。①福祉、②文化、③産業、④教育・情報の4つの機能を持った複合文化ホールであり、図書館やウォーキングプール、産業交流エリアなど、様々な機能をもった複合施設

です。特に保育所を敷地内に併設し、本館に託児スペースを設けるなど、子育てを積極的に応援する大分市の意欲が強く感じられる施設でした。本市において今後の公共施設のあり方を検討する際にも参考になるものでした。



▲大分の複合文化施設「ホルトホール」です

福島市議会 真政会 presents

第2回 市民の皆さんとの意見交換会

CHALLENGE FOR NEXT 今後の公共施設のあり方についてを伺います!

平成28年 開催日時 5月8日(日) 午後1時30分～3時

開催会場 A・O・Z(ア・オ・ウ・ゼ)会議室 (福島市曾根田町1-18 MAXふくしま4階)

この度、真政会では本市の厳しい財政状況の中、限られた財源から将来に向けた公共施設の更新また新設についてどうあるべきか、議員だけの議論に留めず、市民の皆様の意見も伺い、その意見も反映できるように取組みます。

また、意見交換会では、テーマ以外の市政全般の意見要望についても伺います。ぜひとも市民の皆様のご参加をお待ち申し上げます!!

お問い合わせ 福島市議会・真政会 TEL.535-1111 FAX.533-7614

尾形 武



副会長 総務常任委員長 議会運営委員長

松川町浅川字大古内9 TEL: 548-7683

真田 広志



相談役 総務常任委員 議会運営委員 除染推進等対策調査特別委員長

松浪町 1-15 TEL: 526-3201

宍戸 一照



顧問 副議長 建設水道常任委員

荒井字上町裏 10 TEL: 593-1035

渡辺 敏彦



顧問 文教福祉常任委員 予算特別委員会委員長 中核市移行調査特別委員

松川町字青麻山 3 TEL: 567-2660

半沢 正典



会長 経済民生常任委員 中核市移行調査特別委員

上島渡字寺北 28-3 TEL: 593-5256

誉田 憲孝



総務会長代行 総務常任委員 議会運営委員 中核市移行調査特別委員会副委員長

本内字西畑 4-6 TEL: 553-7030

大平 洋人



総務会長 総務常任委員 議会運営委員 除染推進等対策調査特別委員

八島田字東本庄町 4-27 TEL: 559-2043

白川 敏明



幹事長代行 文教福祉常任委員 議会運営委員会副委員長

飯坂町字中原 36 TEL: 542-4041

小松 良行



幹事長 建設水道常任委員 中核市移行調査特別委員

瀬上町字東町 2-6-10 TEL: 553-0647

黒沢 仁



副会長 文教福祉常任委員長

飯野町大久保字谷津 44 TEL: 562-3582

川又 康彦



政調会事務局 経済民生常任委員 除染推進等対策調査特別委員

飯坂町字湯町 25 TEL: 542-4251

二階堂 武文



政調会長代行 建設水道常任委員 除染推進等対策調査特別委員

町庭坂字内町 51-2 TEL: 591-1138

萩原 太郎



政調会長 経済民生常任副委員長 除染推進等対策調査特別委員

山口字下屋敷 28-2 TEL: 535-4693

編集後記

4月も中ごろを過ぎ、桜の花吹雪も見納めのころでしょうか。

新たな出会いにもちよつとずつ慣れ、通常の生活に戻ってきている日々です。

今年は、温暖化の影響でしようか、桜だけでなく雪ウサギも例年より早く現れました。月日と季節のずれをいろいろな点で感じます。

会報では皆さんとずれのないよう同じ目線に立ち行動できるような頑張りです。